

## 閣議及び閣僚懇談会議事録

開催日時：平成29年1月27日（金）

8：24～8：33

開催場所：総理大臣官邸閣議室

出席者：安倍晋三 内閣総理大臣

麻生太郎 国務大臣（副総理，財務大臣，内閣府特命担当大臣）

高市早苗 国務大臣（総務大臣，内閣府特命担当大臣）

金田勝年 国務大臣（法務大臣）

岸田文雄 国務大臣（外務大臣）

松野博一 国務大臣（文部科学大臣）

塩崎恭久 国務大臣（厚生労働大臣）

山本有二 国務大臣（農林水産大臣）

世耕弘成 国務大臣（経済産業大臣，内閣府特命担当大臣）

石井啓一 国務大臣（国土交通大臣）

山本公一 国務大臣（環境大臣，内閣府特命担当大臣）

稲田朋美 国務大臣（防衛大臣）

菅義偉 国務大臣（内閣官房長官）

今村雅弘 国務大臣（復興大臣）

松本純 国務大臣（国家公安委員会委員長，内閣府特命担当大臣）

鶴保庸介 国務大臣（内閣府特命担当大臣）

石原伸晃 国務大臣（内閣府特命担当大臣）

加藤勝信 国務大臣（内閣府特命担当大臣）

山本幸三 国務大臣（内閣府特命担当大臣）

丸川珠代 国務大臣

陪席者：萩生田光一 内閣官房副長官

野上浩太郎 内閣官房副長官

杉田和博 内閣官房副長官

横畠裕介 内閣法制局長官

閣議案件：別添案件表のとおり。

○一般案件 4件

○国会提出案件 1件

○人事 1件

○配布 2件

いずれも，案件表のとおり，決定等となった。

議事内容：

○菅国務大臣：ただ今から、閣議を開催いたします。

まず、閣議案件について、野上副長官から御説明申し上げます。

○野上内閣官房副長官：一般案件等について、申し上げます。まず、「構造改革特別区域基本方針の一部変更」について、御決定をお願いいたします。本件は、健康な者を対象とする臨床試験について、一定の要件を満たす場合に病室面積等の基準を緩和するなど、規制の特例措置の拡充等を行うものであります。

次に、恩赦5件について、御決定をお願いいたします。いずれも復権を行うものであります。

次に、「厚生年金特例法の施行状況」に関する報告について、御決定をお願いいたします。本件は、同法に基づき、昨年9月末までに年金記録の訂正の答申を行った事案等について、事業主の保険料の納付状況等を国会に報告するものであります。

次に、人事案件について、申し上げます。茂串俊外287名の叙位、叙勲又は紺綬褒章等の授与について、御決定をお願いいたします。

次に、配布資料といたしまして、「中長期の経済財政に関する試算」があります。本件につきましては、後程、経済財政政策担当大臣から御発言があります。

次に、「消費者物価指数」があります。本件につきましては、後程、総務大臣から御発言があります。

次に、件名外案件について、申し上げます。まず、「日・オーストリア租税条約」に署名することについて、御決定をお願いいたします。本件は、両国の間で、所得に対する租税に関する二重課税の除去及び脱税の防止のための措置等について定めるものであります。なお、30日の署名まで不公表といたしたいので、御了承をお願いいたします。

次に、「日・スロバキア社会保障協定」に署名することについて、御決定をお願いいたします。本件は、両国における年金制度等への強制加入に関する法令の適用について調整を行うことにより、二重加入の問題を回避すること及び両国での保険期間を通算してそれぞれの国における年金受給権を確立することについて定めるものであります。なお、30日の署名まで不公表といたしたいので、御了承をお願いいたします。

○菅国務大臣：次に、大臣発言がございます。まず、石原大臣。

○石原国務大臣：「中長期の経済財政に関する試算」を作成しましたので、お手元に配布しております。

経済再生ケースでは、中長期的に実質2パーセント程度、名目3パーセント程度を上回る経済成長が実現することで、名目GDPは2020年度に600兆円を達成する姿となっております。また、国・地方の基礎的財政収支赤字について一定の想定の下で試算すると、2020年度は対GDP比マイナス1.4パーセント程度、金額では8.3兆円程度の赤字が残る姿となっております。公債等残高の対GDP比については、2017年度以降低下し、2020年度は180パーセント程度となる姿となっております。

「経済再生なくして財政健全化なし」を基本とし、名目GDP600兆円経済の実現と2020年度の財政健全化目標の達成の双方の実現を目指します。

○菅国務大臣：次に、総務大臣。

○高市国務大臣：本日、消費者物価指数を公表いたしました。その主なポイントは、次のとおりです。12月の全国の消費者物価指数は、1年前に比べ0.3%の上昇となりました。生鮮食品を除く指数は、1年前に比べ0.2%の下落となりました。食料とエネルギーを除いた指数は、1年前と同水準となりました。電気代や都市ガス代などの「エネルギー」が下落となった一方、「生鮮食品を除く食料」など多くの品目は上昇となりました。なお、平成28年平均の全国の指数は、前年に比べ0.1%の下落と、5年ぶりの下落となりました。

○菅国務大臣：次に、防衛大臣。

○稲田国務大臣：1月24日に、我が国国産のH-IIAロケットにより、防衛通信衛星「きらめき2号」の打ち上げが成功しました。現在、衛星は所定の静止軌道に向けて順調に飛行中であるとの報告を受けています。

「きらめき2号」は、今後の自衛隊における通信所要の更なる増加を踏まえ、円滑な通信の確保、通信容量の充実、海外等広域で活動する部隊等への通信の確保の点で、能力向上を図った衛星です。

今後、静止軌道上での性能確認試験を経て、運用を開始する予定です。我が国の安全保障上、極めて重要な通信インフラとして、また、防衛省が初めて所有・運用する衛星として、今回の打ち上げ成功は大変意義深いものであり、今後の自衛隊の活動に有効に活用して参ります。

○菅国務大臣：次に、文部科学大臣。

○松野国務大臣：1月24日に、H-IIAロケット32号機が打ち上げられ、搭載されたXバンド防衛通信衛星「きらめき2号」は、所定の軌道に投入されました。今後、衛星の運用が予定通りに行われ、防衛通信における所期の目的が達成されることを期待しております。

今回の打ち上げ成功により、我が国の基幹ロケットとしては34機連続の成功となり、着実に信頼性を向上させていることを私も喜ばしく思っております。

○菅国務大臣：次に、鶴保大臣。

○鶴保国務大臣：1月24日、Xバンド防衛通信衛星「きらめき2号」の打ち上げが成功しました。

宇宙基本計画では、通信等の宇宙システムを活用した我が国の安全保障の強化の観点からXバンド防衛衛星通信網の拡充を定めており、今般のきらめき2号の打ち上げ成功は、この点で極めて意義深いものと考えます。

宇宙政策を担当する内閣府特命担当大臣として、宇宙安全保障の確保も含め、今後も引き続き宇宙基本計画を着実に推進してまいります。

○菅国務大臣：これをもって、閣議を終了いたします。

引き続き、閣僚懇談会を開催いたします。

御発言はございますか。

無いようですので、以上をもちまして、閣僚懇談会を終了いたします。

〔 別 添 〕

閣 議 案 件

〔 平成 29 年  
1 月 27 日 〕 ( 金 )

◎ 一 般 案 件

- 資 料 ○ 構 造 改 革 特 別 区 域 基 本 方 針 の 一 部 変 更 に つ い て  
あ り ( 決 定 ) ( 内 閣 府 本 府 )  
資 料 ☆ 恩 赦 に つ い て ( 決 定 ) ( 内 閣 官 房 )  
な し

◎ 国 会 提 出 案 件

- 資 料 ○ 厚 生 年 金 保 険 の 保 険 給 付 及 び 保 険 料 の 納 付 の 特 例  
あ り 等 に 関 す る 法 律 の 施 行 状 況 に 関 す る 報 告 に つ い て  
( 決 定 ) ( 厚 生 労 働 省 )

◎ 人 事

- 資 料 ☆ 元 内 閣 法 制 局 長 官 茂 串 俊 外 2 8 7 名 の 叙 位 , 叙  
あ り 勲 又 は 紺 綬 褒 章 等 授 与 に つ い て ( 決 定 )

◎ 配 布

- ☆ 中 長 期 の 経 済 財 政 に 関 す る 試 算 ( 内 閣 府 本 府 )  
☆ 消 費 者 物 価 指 数 ( 総 務 省 )

〔 ○ 署 名 あ り ☆ 署 名 な し 〕

件 名 外 案 件

〔 平成 29 年 〕  
〔 1 月 27 日 〕 ( 金 )

◎ 一 般 案 件

- 資 料  
あ り
- 所得に対する租税に関する二重課税の除去並びに  
脱税及び租税回避の防止のための日本国とオース  
トリア共和国との間の条約の署名について  
( 決 定 ) ( 外 務 省 )
- 〃 ○ 社会保障に関する日本国とスロバキア共和国との  
間の協定の署名について ( 決 定 ) ( 同 上 )

〔 ○ 署 名 あり ☆ 署 名 な し 〕